

サンソー圧送ポンプ

CL-1521型 取扱説明書

このたびはサンソー圧送ポンプをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書(安全上のご注意)をよくお読みの上、正しくお使いください。また、後日の保守・点検のため、大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。誤った取扱いによって生じる危害や損害の大きさを区分表示しています。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示す。

図記号の例



禁止(してはいけないこと)を示します。



強制(必ずすること)を示します。

据付上の注意事項

警告



専門業者

配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、安全・確実に行なうこと。誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。



アース工事

アースを確実に取付け、専用の漏電遮断器を設置すること。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取付けは販売店にご相談ください。

注意



電源コード
傷付禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないこと。また重い物を載せたり挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



燃焼物禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすいものを入れないこと。過熱して発火することがあります。



空運転禁止

空運転(ポンプに水のない状態での運転)はしないこと。ポンプの軸封装置の寿命を縮め、水漏れの原因になります。



防水処理

床面が防水処理・排水処理されているか確認すること。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

使用上の注意事項

警告



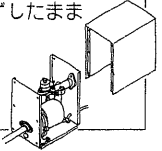
分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。発火したり、異常動作して、けがをすることがあります。



禁止

ポンプカバーをはずしたまま使用しないこと。ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。



注意



プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。



触れるな

ポンプやモーターに触れないこと。高温になっていますのでやけどの原因になります。



空運転禁止

空運転(ポンプに水のない状態での運転)はしないこと。ポンプの軸封装置の寿命を縮め、水漏れの原因になります。



燃焼物禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすいものを入れないこと。過熱して発火することがあります。



保守・修理上の注意事項

警告



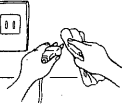
プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。またぬれた手で抜き差ししないこと。感電やけがをすることがあります。



プラグを拭く

電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭くこと。火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。発火したり、異常動作して、けがをすることがあります。

注意



電源コード
傷付禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないこと。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検・修理を依頼すること。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

ご使用方法

次の運転要領を知っておかれますと、後日お役に立ちます。
運転は次の順序で行ってください。

1. 付属の吐出管継手と波立ち防止板を取付けてください。
2. 吐出側・戻り側の配管を確実に行ってください。
3. 吐出側・戻り側のバルブが閉じていることを確認した後、受水槽に水または不凍液を入れてください。供給量が少ないとエアがみ運転の原因となりますので、最低でも5リットル以上入れてください。
4. 差込みプラグをコンセントへ差込み、電源スイッチを入れればポンプが運転します。
5. ポンプ運転後、バルブ操作にて規定圧力に設定しご使用ください。

長期間使用されなかった場合は

ポンプは、マグネットドライブポンプを使用しておりますが、羽根車軸受などに水垢などで固着することがありますので、運転開始のときには必ずポンプの運転を確かめてください。もしポンプが運転しない場合は、電源を切り、回転軸孔より⊖ドライバーを入れて2～3回シャフトを回し、電源を入れ、運転を確認してください。

仕様

機種名	CL-1521	
定格電圧	単相 100V	
定格周波数	50Hz	60Hz
定格消費電力	201W	301W
定格電流	2.2A	3.1A
呼び出力	150W	200W
回転数	2850min ⁻¹	3300min ⁻¹
コンデンサー	12μF	
極数	2 極	
プロテクター	自動復帰型	
戻り管	呼び 1/2	
吐出管	呼び 1/2	
揚程	13.5/11.5m	18.5/16.5m
揚水量	10/20 L/min	10/20 L/min

配線工事について

1. アース線をガス用の管に取付ないでください。法律で禁じられております。
2. 電源は専用のコンセントからとるようにお願いします。
3. 電源の配線は、電圧が低下しないように行ってください。電圧があまり低いと電動機の故障の原因となりますので、試運転のときに電圧を確認してください。

異常が生じた場合

1. モータープロテクターについて
この装置は、モーターに異常な電流が流れた場合、モーターが異常に発熱して焼損するのを防止します。万一この装置が働いたときには、電源を切って販売店（工事店）にご相談ください。
2. 脱調現象について
通常は、モーター側のマグネットとポンプ側のマグネットが一体で回転しますが、万一ポンプ内に固形物などが入りインペラが回転しなくなった場合には、ポンプは停止してもモーターは正常に回転します。このような現象が生じたときには、一度電源を切り、ポンプに異常がないか調べた後再度運転をしてください。

このようなときに

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みの上、再度次の点検をしていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、販売店（工事店）へお申し出ください。

事故現象	原因	処置
ポンプが運転しない	電源が入っていない。	電源を確実に入れる。
	異物混入によるモーターロック。	シャフトカバーをはずし、⊖ドライバーでシャフトを2～3回まわす。
	モータープロテクター作動。	電源を切って修理を依頼する。
	スイッチ、リレーの故障。	電源を切って修理を依頼する。
ポンプは運転するが送水しない	受水槽ストレーナーの目詰り。	ストレーナーを清掃する。
	羽根車に異物がかんでいる。	修理又は分解清掃する。
	ポンプ内に空気が溜っている。	空気抜きを完全にします。

愛情点検

●長年ご使用のポンプの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- 運転中に異常な音や振動がする。
- 運転すると安全装置や漏電しや断器が動作する。
- 水漏れがする。(ポンプ部、フランジ部)
- こげくさい“におい”がする。
- ポンプに触るとビリビリと電気を感ずる。
- コード類に“傷”や“ひび割れ”がある。
- その他の異常がある。

△ご使用中

このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切って（差込みプラグ）をコンセントから抜いて必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。

SANSO 三相電機株式会社

〒671-2288 姫路市青山北一丁目1-1
TEL: (079) 266-1200 (大代表) FAX: (079) 266-1206
営業所 TEL:
札幌S.S (011) 242-0101 仙台 (022) 781-3037
東京 (03) 5947-2575 静岡 (054) 236-0195
名古屋 (052) 509-7199 姫路 (079) 266-1205
高松 (087) 831-9678 広島 (082) 234-3800
福岡 (092) 552-2051

試験合格証
このポンプは
各種の試験に
合格しその品質の
良好なることを保証
いたします。

960105710